〔児童発達支援　・放課後デイサービス　　ニッシ　〕 送迎マニュアル

1 送迎準備

1. 送迎ルートの確認



・ 本人の自宅を地図で確認する。地図をコピーし、利用者マスターにファイリングする

・ サービススタートまでに車で下調べをする。その際送迎の所要時間を確認する

・ 付近の道路に規制がある場合は、その旨を地図に記入する

（2）送迎時間、順路の確認

・ 当日の送迎表により送迎時間、順路を確認する

（3）車両チェック

・ ガソリンチェック

・ タイヤの空気圧チェック

・ 破損部分のチェック

・ 車内チェック（シートベルト、ごみ等）

2 送迎

（1）到着時の対応

・ 挨拶：利用者様、ご家族に明るく、さわやかに挨拶を行う。挨拶後、体調などの変

化についても聞く

（2）乗降介助の対応

・ 乗降介助：乗車時は基本的に健側から乗車するようにする。患側が引っかからない

よう介助を行う

・ 降車介助：降車時は基本的に患側から降車するようにする。患側が内側に入らない

よう介助を行う

（3）乗車中の対応

・ 安全運転を第一とし、急ブレーキ、急発進、急ハンドルは厳禁

・ 一人の利用者様に偏らず、全利用者様と会話を行うよう心掛ける

3 送迎後の業務

（1）到着後の対応

・ 降車時に忘れ物がないかを確認し、転倒に気を付けながら介助を行う

・ 降車後も注意を忘れず、バランスが安定するまで確認を行う

・ 転倒防止の為、できる限り１対１で移動介助を行う

（2）到着後の車両点検

・ 忘れ物、ゴミ等がないかをチェックを行う

・ タイヤの空気圧、破損部分のチェックを行う

4 車両点検

（1）日常の車両点検

・ 毎日、送迎前と送迎後に、車両の内部、外部の点検を行い、破損部分等があれば早

急に修理を行う

・ ５,000 キロに 1 回オイル交換とオイルエレメントの交換を行う

（2）業者点検

・ 1 年に一度、車両メーカーによる点検を行う

・ 車検点検を行う

5 その他/特記事項

・下車時には、忘れ物（特に水筒）がないか十分確認をする。

・その日の出来事の報告については、できるだけ行いたいが、送迎者がその日の担当指

導員でない場合があること、また時間的な制約がある場合があること、車内に他の生徒

がいる場合があるので、児童が家の中に入るまで見送ることを基本対応とする。

・車内では、チャイルドロックを必ずして走行する。

・児童を車内で１人にしない

緊急時及び送迎時マニュアル

1・緊急時

A.地震
・携帯等より緊急地震速報が受信された時、運転中であれば駐車可能な場所に速やかに
 停車次の状況に備える。
・震度5以上の地震が起こり周りの状況から建物等の倒壊が確認された時揺れの収まりを
　待ち、冷静に安全の確保を！
・事業所までの交通網の寸断などが考えられる場合は最寄りの避難所を確認の上避難を
　する。
・避難所到着後、一人では子供の避難に支障がある場合は協力者を必ず呼びかけ協力を要請すること
・避難完了後に事業所までに報告 連絡確認取れるまで避難場所で待機する事
杉の子支援学校、各学校での対応
震度5以上以上の揺れが確認された時、基本的に父兄のお迎えになり
事業所の迎えは有りませんが、各学校で乗車前待機中に地震があった場合は一応その場で待機して、状況に合わせた対応としますので各自責任を持った対応,状況判断をして下さい、
必ず危険は避けること。

・施設内で地震があった場合は避難訓練を思い出し、子供たちの安全を一番に庭えの避難点呼、
 次の避難所移動に対し安全を確認の上冷静な行動を取るようにする事。

2・送迎時

・子供たちの座席は子供の特性を考え配置すること
・子供を下ろす場合は必ずエンジンの停止、キーの抜き取りを行う事
・子供を下ろす場合は、車の停車方向を意識する
      風など突風は特に注意、指導員が扉とボディーの間に体を入れて
      急な扉閉まりに注意する。
・指導が特に注意が必要な子は運転席より左手後部座席に座らせるとバックミラーで絶え
　ず注意がしやすい。
・子どもが降りたあとも車庫に戻るまでは勤務の意識を持って安全、法令の遵守を必ず忘れないように今一度  緊急時及び安全に意識して下さい。